

産業廃棄物処理計画書

令和 5 年 5 月 17 日

福岡県知事 殿

提出者

住所 福岡県糟屋郡新宮町
緑ヶ浜三丁目1番1号
氏名 株式会社ニューイングベーカリー九州
代表取締役社長 長田守伸
電話番号 092-941-2316

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社ニューイングベーカリー九州 福岡工場
事業場の所在地	福岡県糟屋郡新宮町緑ヶ浜三丁目1番1号
計画期間	令和5年4月1日 から 令和6年3月31日まで

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	E. 製造業
② 事業の規模	10,662百万円(令和4年度実績)
③ 従業員数	551名(令和5年3月末現在)
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<pre>graph LR; A[製造工程] --> B[動植物性残渣]; A --> C[脱水汚泥]; A --> D[廃プラ]; B --> E[委託業者(飼料化)]; C --> F[委託業者(肥料化)]; D --> G[委託業者(破砕リサイクル)];</pre>

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)	<pre>graph TD; A[工場長] --- B[生産技術課 マネージャー]; A --- C[生産管理課 マネージャー]; A --- D[EM推進課 マネージャー]; A --- E[フアンソア総務課 マネージャー];</pre>	<p>福岡県 宗達係 -5.5.23 第 号</p>
---------	--	--

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 4 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック類
	排出量	1,806 t	57 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	3,393 t	55 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
(これまでに実施した取組) ・製造における予備数の削減(製造数に対し 3% ⇒ 1.5%) ・10月よりフードバンクへの提供を開始			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック類
	排出量	1,788 t	57 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	排出量	3,359 t	54 t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	産業廃棄物の種類		
排出量	t	t	
(今後実施する予定の取組) ・消滅機の導入による排出量削減			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・手袋等の衛生消耗品を分類 ・ラベル/シール類の紙管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・予備数処分時、廃プラと動植物性残渣の分別

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】			
①現状	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
②計画	産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類	汚泥	廃油
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（令和 4 年度）実績】			
産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック類	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0	t
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0	t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2,861 t	0	t
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t		t
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t		t
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t		t
(これまでに実施した取組)			
①現状			
【目標】			
産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック類	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t		t
産業廃棄物の種類	汚泥	廃油	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	2,832 t		t
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t		t
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t		t
産業廃棄物の種類			
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t		t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t		t
(今後実施する予定の取組)			
②計画			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

		【前年度（ 4年度）実績】			
		産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック類	
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	0 t	
	産業廃棄物の種類	汚泥		廃油	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0	t	0 t	
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
	産業廃棄物の種類				
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t	
	産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t		
(これまでに実施した取組)					
②計画		【目標】			
		産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック類	
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
		産業廃棄物の種類	汚泥		廃油
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
		産業廃棄物の種類			
		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t
		産業廃棄物の種類			
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量		t	t		
(今後実施する予定の取組)					

産業廃棄物の処理の委託に関する事項 1枚目 (1品目目から4品目目)

【前年度 (4年度) 実績】			
産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック類	
全 処 理 委 託 量	1,806 t	57	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	15 t	0	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,806 t	57	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0	t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	汚泥	廃油	
全 処 理 委 託 量	3,393.0 t	55	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	532.4 t	0	t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	55	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0	t
(これまでに実施した取組)			
【目標】			
産業廃棄物の種類	動植物性残さ	廃プラスチック類	
全 処 理 委 託 量	1,788 t	57	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t		t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	1,788 t	57	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t		t
産 業 廃 棄 物 の 種 類	汚泥	廃油	
全 処 理 委 託 量	527 t	54	t
優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	527 t		t
再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	54	t
認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t		t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t		t
(今後実施する予定の取組)			

①現状

②計画